

単元名 音のスケッチ(2)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けることができる。
- (2) 多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる。
- (3) 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070205_001

【教材名】 ゆき（音楽づくり） いろいろな声で音楽をつくろう (P. 46～P. 47)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ゆき」の情景を思い浮かべながら、音読と歌で表現する。</p> <p>★いろいろな声で音楽をつくろう</p> <p>○線に合わせて、様々な声を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に線を描く。 ・線を指でなぞりながら声を出す。 <p>○「ゆき」を朗読し、作品のイメージをもつ。</p> <p>○ペアで「しん」という言葉を使って、いろいろな声の表情で音楽づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即興で呼びかけ合う。 ・他のペアと発表を聴き合い、どのような工夫をしているか考える。 <p>○「しん」という言葉を使って音楽づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な声の高さ、長さの声が出ることに気付かせる。 ・人差し指でなぞらせながら「ア」などの声を出させる。 ・声の高低を自由に表現してもよいことを伝える。 ・強弱の工夫も試させる。 <p>【共通事項】 音色 強弱 音の重なり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P. 47を参考に、いろいろな声の出し方で読ませる。 ・どのような音楽づくりをしていけばいいのか分からない児童もいると考えられる。そのため、児童の実態に合わせてP63の「ゆき」やCDの創作例などを適宜聴かせてもよい。 <p>【評】 詩を元に音楽をつくる活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さを関わらせて音楽をつくる活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループで音楽づくりをする。 ・自分の声や友達の声をよく聴き、認め合うことが大切であることを伝える。 ・記譜するためのワークシートを用意し、線で表させたり、文字で書かせたりする。 <p>【評】 多様な声の表現を聴き取り、即興的な表現を通して発想を得ながら全体のまとまりを意識して音楽をつくる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】 設定した条件に基づいて即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】